

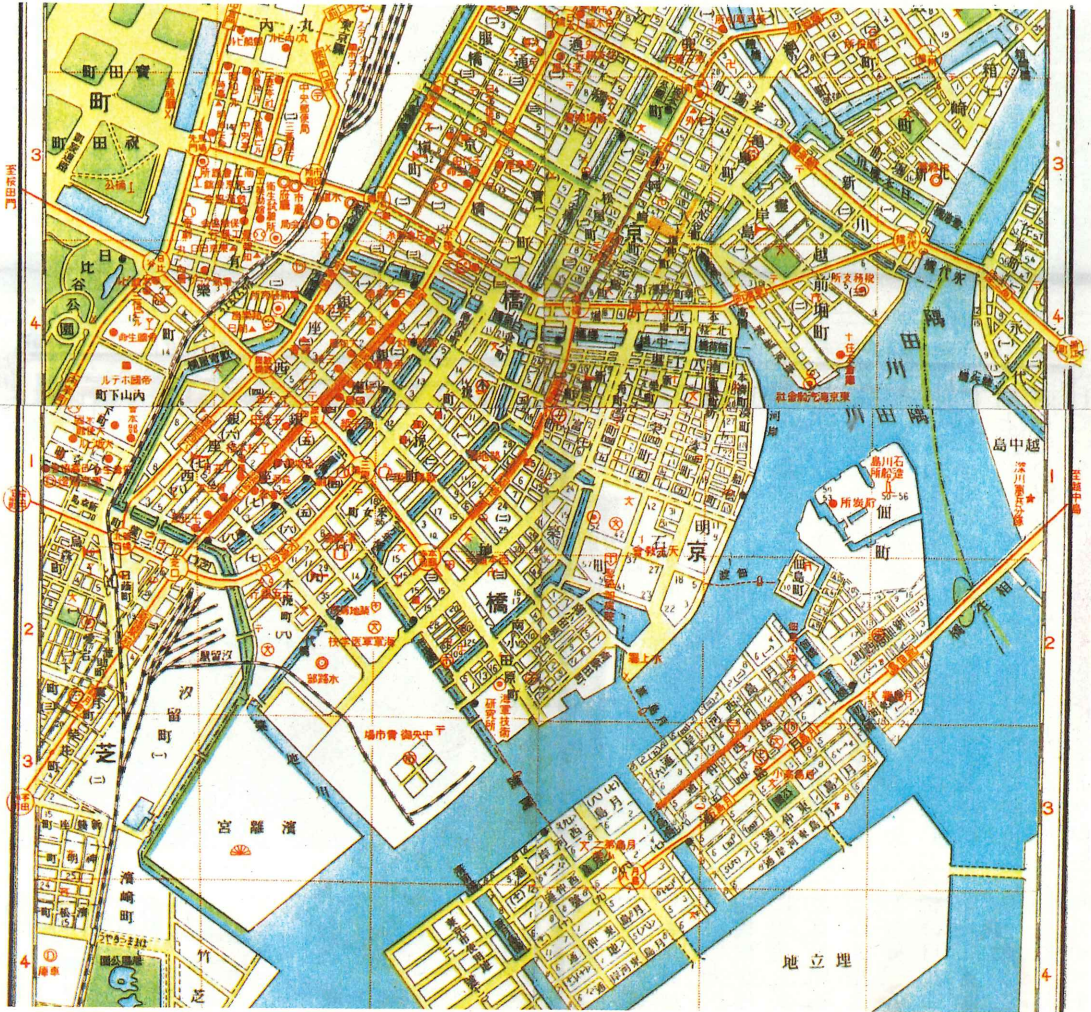
# 京橋の印刷

12月15日1982・No. 45

発行所

東京都印刷工業組合京橋支部  
〒104 東京都中央区新富1-16-8  
日本印刷会館3F 電話 552-1855

編集 新保義人  
中村憲吉



## 表紙のことは

築地地区  
土井印刷機 土井 嘉光

半世紀も昔の昭和6年。関東大震災から立ち直った京橋の市街図です。大正12年東京特別市議会で決定された昭和通りの建設もすでに出来上り巾員44メートルの広い道路が京橋区を横切っております。

かちどき橋はまだ生れておらず、月島への交通は、かちどき、月島、佃の三つの渡船が頼りでした。大八、リヤカ、自転車などが人と一緒に席を譲り合い乍らの数分の船旅は、情緒あるものでした。台風のと きなどは大井川の川止めではありませんが渡しも欠航になったことでしょう。

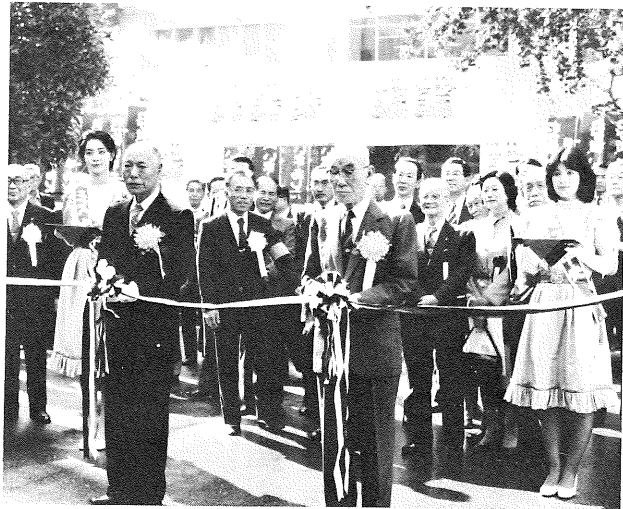
ルーベでござらん下さい。南飯田町、新栄町、松尾町、安女町、元島町、舎六町などの町名が京橋区内に見られます。

銀座通り、築地から新富町、月島西仲通り、横町通り、八丁堀など赤斜線のところが昔なつかしい夜店街です。

# わが町・いま・あした

## '82 中央区工業文化展(10/20 ~ 10/23)

都心の一等地に大型テントを架設して準備された会場は開会前日のどんよりとした曇り空が夕方になって大雨に変わり、折から展示品の飾りつけの最中、急に天井のスキ間から雨が降り込んで壁に貼りつけたばかりのパネルをぬれないようにあわててはまず等、一時は翌日からの開会がどうなるのかと思いやられる有様でした。翌朝は、不順な天候の今年においては久しぶりの快晴の青空が拡がって、第一回目の時と同様



に晴ればれとした開会式日和となり、同じ中央区のお祭りの大銀座まつりの時の冷雨の時とは季節が逆転したのではないかと思われる好天に恵まりました。午前10時、開会式のテープカットが横関中央区長、池宮工団連会長によって行われ参会の来賓や役員の拍手の内に会場入口から、池宮工団連会長の案内で来賓が順次場内を観覧して回りました。

まず入口を入ると右手に中央区工業分布図や工業生産額を示す各種グラフのパネルが掛られており、その前のテーブルには日本橋支部の宮嶋印刷で作られた東海道新幹線の折りたたみ時刻表が多数持帰り用に並べられていました。次のコーナーが印刷京橋、日本橋支部で印刷加工されたカレンダー、列車ダイヤ表が壁に貼られて、その前のショーケース内には各種書籍、紙器類、伝票、レコードジャケット、アルバム等の印刷物が陳列されて中央区の印刷種類の多さをうかがわせた。次のコーナーが日本橋支部の馬場静山堂による版画の浮世絵美人画や安藤広重の東海道五十三次が壁に飾ってあり、テントの黄色い光線を反射して、ひととき精彩を放っていた。つき当りの正面は壁に飾られた木版画の彫刻と摺りの実演で、二人の職人のあざやかな手捌きに参観の人々も足をとめて興味深げに見入っていた。そして同じく左側にはモトヤの

出品協力 東印工組京橋支部

区内の印刷工場で作られたものいろいろ



ワードプロセッサやドットプリンター、電子タイプライター等のこれからの組版の主役を担う機械に係の人の手によって実演されて印刷業に関連した人の興味をひいていた。又その隣りでは軽印刷中央支部の依頼でリョービ印刷機販売が小型全自動オフセット印刷機、ダイレクト製版機、万能写植機等の電子頭脳を内蔵した最新の自動印刷や組版の機器が出品、稼働されており、その裏側では製本機械、断裁機、紙揃機等も動かされて、プリンティングフェアの会場と見まごうばかりで、さすがに中央区の工業事業所の80%を占める印刷・製本関連の比重を示し



ているようで壮観なものでした。  
 テント内の渡り廊下を伝って別棟のテントでは大東印刷工芸出展の我国輸入第1号の独製活版印刷機(ジャマンプレス)が据えられ、壁にはNHK連続ドラマ「獅子の時代」に出たスタイル写真と共に展示されて、その脇では理想科学出品のプリントゴッコが京橋支部役員五、六人の協力実演で小学生の人気を集めていた。これらの印刷製本関係以外にも区内の造船、化学、水産食品加工、金属加工等の展示や、電々公社によるビジネスホン、ミニファクス、キャプテンシステム等々の展示コーナーが設置されて区内工業の中の広さを知らせていました。



これらの展示コーナーで、期間中にいつも人だかりが絶えなかったのは、プリントゴッコ、マーブル実演、そして電々公社の全国無料通話サービス、手漉和紙の実演等で、特にプリントゴッコは年末の年賀状づくりに備えて、大人も小学生にも、人気があったコーナーで、小学生に勝手に図案を書かせてはフラッシュで製版し原版を作らせたもので閃光電球が足らなくなり理想科学の係員から苦情が出る程でした。この他に富士写真フイルムによる樹脂製版の実演等

爽やかにあざやかに

気品ある白……

**CCP** ニューホワイト

**十條製紙**

本社 東京都千代田区有明町1-12-1(新有明ビル) 〒100  
 TEL (03)211-7311

すいせんのことば 十條製紙の製品は安定性・作業適性など優れており安心して愛用している。

新川地区 三好印刷株 三好 徹

和・欧文 活字  
 材料 / テープ・メタルベース 他  
 インキ / 阪田 大日本 東京 東洋 各

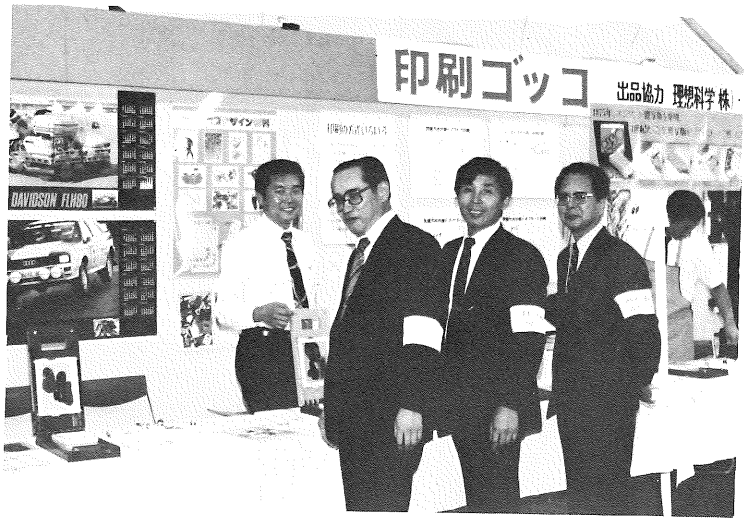
和・欧文 各パンフレットあります

株式会社 **京橋岩田母型**

551 - 1380・2830・(店頭)2827

すいせんのことば 平版部門諸材料の取扱いも一層強化され、又新製品開発は京橋岩田母型の看板です。御利用

をおすすめします。入船地区 光信印刷株 武村健司



も行われて、中央区工芸展とはいうもののスペースの殆どは印刷・製本関連の展示コーナーとなつて、さながら中央区印刷・製本工業展といった方がよいくらいでした。

テント内は四日間共、連日の好天で日光が反射して明るく、暖かく照明も不要な位で、2年前の晴海の会場のように寒々とした感じがなくて、役員の中には2年後に行う時は又ここで、と言う声もきかれました。このように初回の経験が生かされて交通の便が最高の東京駅前、高

島屋のそばという地の利もあって、通りがかりの一般の人や昼休みには近くのビルのサラリーマンやOLが仲間連れで見物に来たりで、入場者は晴海の時と桁違いの多さでした。

4日間の総数は約2万1千人、内小中学生が約2千人と前回の小中学生中心の催しから一転して区内企業、社員、住民向けの催しとなった感じでした。尚初日開会式後、近くの大日本インキ化学工業のあるDICビルで行われたレセプションの席上、横関中央区長は、参会者はじめ同展開催に協力された実行委の方々に対してお礼を述べられた後、「中央区工業文化展の開催は今年が2回目であるが、第1回目の実績を生かして創意工夫をこらしたつもりだ。区内の工業の「いま」を多くの人たちに見ていただき、その中から輝かしい「あした」を展望したいという願いで開催した。そのために会場を区の中心にもつてきて、区財政の重要な担い手である区内の工業に対して、理解と協力を得たいと思う。この文化展を一つの契機としてさらに団結を強め、企業が発展されますよう祈りたい」と述べて乾杯をしました。

4日間に亘る今度の工業文化展は出展内容でも、入場者数からも、又場所にも、天気にも恵まれて大成功であったといえます。

また予算の面でも、2年前と較べて大巾に節減され、前回のように加盟団体員からの拠出金なしで、中央区からの出費で、予算全体の半分以上が賄われたのは、行政が本腰を入れて取り組んだ結果といえます。京橋支部としては臨

時会場費45万円と、顧問・相談役・参与及び部長・監査32名の方から「のぼり代」として64万円を負担していただいただけでした。最後にこの4日間に亘り、工団連の実行委を初め、京橋支部の各地区長、幹事、京青会員の方々が多忙な時間をさいて出張当番に御協力下さったお蔭で成功した事は勿論ですが、中央区商工課深沢商工課長以下の課員の方々の周到な準備作業の結果であった事をここに御報告させて頂き感謝申し上げます。

### 京橋支部出展会社及び内容

- 小宮山印刷(株) ガンダムシリーズ本5点。
  - 大東印刷工業(株) 活版印刷輸入第1号機、及び書籍3点、ポスター1点、書籍3点、ポスター、カレンダー各1点。
  - 土井印刷(株) レコードジャケット3点。
  - (株)一九堂印刷所 書籍5点、ポスター5点。
  - (株)大成美術印刷所 83カレンダー8点、書籍3点。
  - (株)一世館 書籍3点。
  - 白橋印刷所 ポスター1点。
  - 久栄社印刷所 各種伝票類10点。
  - 高千穂印刷(株) ポスター2点、販促商品(下敷き、シール、寒暖計等)
  - 日本精版印刷(株) 敷き、シール、寒暖計等)
- 京橋支部事務局 「京橋の印刷」三百部配布、印刷週間ポスター。
- 大日本インキ化 配布用ワッペン、シール各種学工業(株) 多数。

第24回印刷文化展 特別講演 (56・9・19)  
 経営・技術集談会

# 日本は本当に強いのか

講師 加藤 寛

〈連載第三回〉

## 印刷業界の最大の課題は

印刷業界は今どのような傾向になっているか、量産である。たくさん作らなきゃだめだ。量産をするには工業化時代の発想である。したがって、改善するには労働力をなるべく使わないようにしなければならぬ。労働力の節約しかない。そこで懸命になって労働力の節約に励む。原料をなるべく安くするために紙のコストを下げることに懸命になる。つまり、コストの削減が今の印刷業界の最大の課題である。新しい時代に適応することはまだ考えられない時代である。つまり、印刷業界は混沌とした時代の中に入り込んで、抜け出すことができない。その原因は紙パ産業の不況である。紙パ産業の不況がひどいから、紙パ産業はカルテルを結ぶ。カルテルを結んで価格を上げる。そうすると、紙パ業界のカルテルによって印刷業界はコストの高い紙を買わなきゃならないわけである。

ところが、注文は競争である。しかも業界はたくさん店がある、工場がたくさんあるから競争になる。注文主であるお客は自由に選択がで

きる。あなたのところでは幾らでやりますか、あなたのところは幾らですかと言われるたびに下げなければ売ることができなくなってくる。こうしてコストは高くなっているのに、売ろうとするものは安くしなきゃならない。紙パ業界はカルテルで頑張るから下げられない、下げられるのは労働力のコストしかない。そこで、結局は社長の手取りを少なくして何とか我慢をするしかなくなってくる。これが印刷業界の一つの流れになっていると私は思う。

このような流れは果たしてこれからも続けることができるのだろうか、私に言わせれば、それは無理である。今はそれができるかもしれない。印刷業界は明るい注文がいつかは来るだろう、いつかは消費が増えるだろう、いつかは景気が良くなるだろう、そう思って、はかない夢を描いて今お持ちになっているわけである。

しかし、はかない夢が実現するためには新しい時代が起らなければだめである。それが果たして来るだろうか。しかも、新しい時代が来ればみんなの業界はさっと明るくなるであろうか。それは、私は間違っているように思う。労働力に頼っていかうとする時代で果たしてやれ

るであろうか。

「セオリーZ」をお読みになった方は多いと思う。この本の内容は大したことはない。私に言わせれば当り前のことである。アメリカでも、日本でも発展している企業の特徴は何か、それは信頼関係があるとか、あるいは行き届いた労働管理が行われているとか、そういうことが書いてあるだけである。だから、それは当り前のことである。

しかし、この本はうまいことが書いてあると私が思うところがある。それは、その本の序文でオオウチはこういつている。「今までの日本は確かに発展した。それは労働力が同質であったからである。このような同質の労働力を集めた場合には発展をすることができたかもしれない。だから、われわれは、今、日本に学ばなければならぬ。ところが、このような状態がいつまでも続くとは自分には思えない。労働力が異質になった場合に、日本の企業は果たして今まで通り発展できるだろうか。当然、アメリカの企業に日本が学ばなければならぬ時がある。なぜならば、アメリカは異質の労働力を扱うことにおいては日本よりも先を行っているからである」、こう書いてある。

私は、一九九〇年頃にはそのことが大きくないと考えているから、あえてオオウチの意見に賛成なのである。これからの日本は同質の労働力でやれるかどうかかわからない。なぜかという、第一には労働力の変化が起る。それは団塊世代が増えてくるからです。

### 団塊の世代とは

団塊の世代と私は簡単に申したが、これはいろんな変化を起こす。今、私たちは、三〇歳の数は二四〇万人だと思っている。二〇歳の人たちは今、一五〇万人である。つまり、これから一〇年の間に九〇万人の男女が減る。九〇万人の男女が減ることは四五万組の結婚式がなくなる。四五万組の結婚式がなくなることは、結婚式を当てにしていたブライダルホールはみんな苦しくなる。減る四五万組に匹敵するだけの価格を上げなければ、つまり売上を上げなければ、恐らくブライダルホールは懸命になって結婚式をなるべく盛大にするように努力している。

新郎、新婦のお色直しはこの頃、当り前になったが昔は、男はお色直しはしなかった。お色直しをしても男は大したことない。ところが、女性はやっていた。しかし、それがいまや新郎もやるようになった。しかも一回では費用が上がる。二回、三回とやってもらわなければいけない。そして三回もお色直しをやるようになった。しかし限界がある。そこで、今度はお色直しを仲人にもやってもらう。更に、ご両親にもやっていた。そのうちに参加者もみんなやるようになるでしょう。このような時代が来なければブライダルホールは成り立たない。だから、ブライダルホールをやっている方々は、大変だ、大変だでみんな危機感を持っている。しかし、考えを変えてみよう。結婚式が四五

万組減るが、これから中年の人が増える。中年の人が増えることは、中年の人たちは結婚式はしないが、同窓会はやる。だから、同窓会会場ならばやれる。同窓会を自分のところでやってもらうためには、会場の経営者はどうすればいいか。中年の人たちは仕事が忙しくて、名簿の整理、住所の整理、案内状を出すことは大変なことであるから、なかなか同窓会が開けない。それを年一回、年二回やってあげる形でもって、中年の方々の住所録を全部コンピュータに入れて、季節が来ると同窓会の案内状をさっと出してあげる。こういうことをやると、幹事がいなくても、自動的にみんな同窓会会場へ集まるわけである。これがこれからの商売なのである。つまり、これが情報化社会なのである。

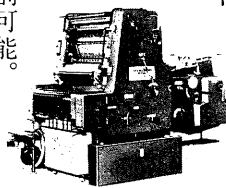
情報化社会という、みんながどんな風にお考えになったか私は知らないが、情報化社会は、このように情報を使うことによってお客さんを自分のところに引き寄せてくることである。

### 落ちこぼれの考え方

みんながここに介入する余地が幾らでもある。つまり、印刷業をおやりになっているみんながそれをやれば仕事が増えてくる。同窓会の案内状を出すだけじゃない。集まるたびに同窓会誌を作つてあげる。中年の人は所得が増えていく。そのお金を決して惜しみはしない。こういうところにみんなが積極的に働きかければ、この業界の発展は当然変わってくるはずである。

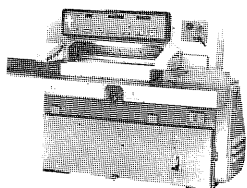
### ハイデル情報

ハイデル単色Mオフセット機  
菊半裁判 四八〇×六五〇%  
最高速度八千  
毎時。ナン  
バリソグ、  
刷り込み、  
マシン目  
入れ、二分割可能。



### ポーター情報

ポーター九二EMC断裁機。  
最大断裁幅九二cm  
マイクログ  
ンピュータ  
搭載の新高  
速断裁機。  
積紙高七cm  
重量二六kg



### 印刷機械貿易株式会社

香里本社 大阪府寝屋川市豊里町一四  
電話〇七〇・三三二・〇四四一  
東京事業部 東京都品川区南大井三二一四  
電話〇三三・七六三・四一四一

すいせんのことば 機械の材質がよいせいか故障がないので予定通り作業できて助かります。それにシリンダーが大きいので刷り上のよいのにも満足しています。約束した時間には必ず来てくれるのも、サービスが行き届いているからでしょう。

入舟地区 永井印刷工業株 小倉利明

団塊の世代が増えることから、私たちはこのような感覚で業界を見ることになる。これを今、日本では、どちらかというと厄介者という考え方をしている。私たちから見ると、団塊の世代が増えることは、面白い時代になる。

団塊の世代が増えることを会社ではコストがかかると考ええる。この方々は生まれたときから大変である。幼稚園へ入るのも試験、小学校へ入るのも試験、そして中学、高校、大学、いつもあぶれていく。あぶれていくのがやっと会社に入った。入ったら、この人たちはまたあぶれる可能性が出てくる。なぜかという、会社のいまの労務管理はこうなっている。真ん中のところの団塊の世代が多い。上の方は少ない、下も少ない、結局ここでもってあぶれてしまった人たちが落ちこぼれになるわけである。今の落ちこぼれと団塊の世代の落ちこぼれの考え方は違う。

もし、この方々を窓際に置いたとする。普通は、五〇歳以上の方々が窓際に行っても大してみんな驚かない。五〇歳以上の方々は戦前の経験があるから、窓際に行っても、いつかはまた復帰してみせるという風に意気込んで考える、このような時こそわれわれは勉強しようと思うわけである。

ところが、三〇歳の方々は昔から窓際、窓際で来ている。そうなると、窓際に行ってもまたかということになる。そこで、この方々を不満を持ち、会社の中では異端者になってくる。このような状況をうまく突破することが会社の仕

事であるし、社会的には団塊の世代が大きな消費の変化を起こしているのだから、これをつかむことが必要になってくることがわかりただけだと思う。

### 女性パートタイマー

第二番目は女性が増えてくる。今まで女性といえばパートタイマーである。しかし、これからの女性は違う。パートタイマーではない。この方々がやがて管理職になり、そして一つの地位として動くようになる。この場合の女性をどのように扱うかが大変難しくなってくる。家庭と仕事とを両立させると簡単にいうが、実際には、日本の場合にはそまでの条件ができていない。しかし、女性の意識は高まってきているから、なぜ自分がこんなことをしているのかを常に反省する。女性をどのように受けとめていくかという問題が起こってくる。

三番目には高齢者の方々が増えることである。高齢者と私は簡単にいうが、総理府の意識調査がある。総理府の意識調査によると、二〇歳の方々は、現状で満足、これ以上悪くならなければいい、このまま行けばいいと思っ

三〇歳の方は、日本の将来に未来はないと言っている。そして四〇歳から五〇歳は、とにかく頑張るしかないと思っ

うである。このような考え方である。だから高齢者がどんどん増えてくることは、いいことでもあるが、また困ったことでもある。高齢者をどのようにこれから会社の中で考えるか、あるいは社会の中での高齢化をどのようにつかまえるかが大切になってくる。

女性にとって今、働く人々、つまりキャリアウーマンが増えている。キャリアウーマンの消費はどんな風に変わっているかご承知か。キャリアウーマンが一番困っているのは、どのような洋服を着たらいいかということである。男は背広がある。どこへ行くにも背広で行ける。ところが、女性は昼間働く時の洋服と夜どこかへ行く時の洋服とは違わなきゃならない。それをどう区別するかがなかなか難しい。そのような消費に配慮することが必要である。

しかし、これは男でも同じである。今、暑いから上着を脱ぎ、夏は大体みんな上着を脱いで働く。上着を脱いで働くことは、上着の中に入れていた小物をどこに入れていいか。したがって、この頃はどこのデパートでも、小物入れとして男のハンドバッグが出てくるようになった。どれを見ても、みんな余り変わらない。どちらかというと、御用聞きと余り変わらない。そういうようなカバンを持つのはおかしい。女性の場合には、古い伝統があるから立派なハンドバッグがたたくさんできている。それと同じように男物のハンドバッグが必要な時代になった。

高齢化することは、年をとった人たちにとっ

ての不満がいろいろ出てくる。それをつかまえることが大切である。こうして私たちは、今、変化が起きていることに気がつくだろう。

### 異質労働力の増加

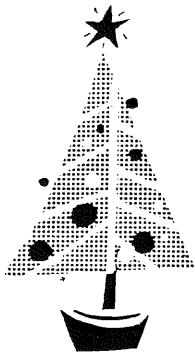
更に四番目は、外国人が労働力の中にだんだん増えている。タレントなんかが一番増えるだろう。テレビのコマーシャルを見ればわかる。ほとんどが外国人である。つまり日本人なんか出る幕がなくなってきた。国立大学では絶対に外国人を採用することができない。だから、外国人は国立大学の教授にはいけないわけである。しかし、これを埋めなきゃいけない時代が来る。その時になったら、外国人の優秀な教授がどんどん日本に入ってくるだろう。日本の国立大学の教授の中で、そういう外国人の教授に匹敵して生き残れる人がどれくらいいるだろうか。こういうことを言っているわけではないが、とにかく非常に危険な状況である。

そういうわけで、今、私たちは大きな変化に見舞われている。この変化は、異質な労働力が登場することで会社の中が変わると同じように社会の消費が変わる。社会の変化が起こる。そのような社会の消費の変化をつかまえることが私たちの大きな仕事になってくる。こういう意味で、今、私は申してきたが、労働力に異質なものが出てくることは、労働力のコストを下げる手段だけではやれない時代が来た。むしろ異質なものを私たちは活用して、逆にもっといい

やり方ができないだろうか。

たとえば、高齢者が増えているから印刷業もだんだん苦しくなる。細かい字を拾うことも難しくなるし、コンピュータを使うことになる。高齢者は、コンピュータに対してはアレルギーがあるから、それに飛びつくことがなかなかできない。むしろ若い人でなければコンピュータはだめである。しかし、高齢者になると、今度は判断力とか、そうした一つのデザインを考えることになると、高齢化しているためにかえって経験豊富である。そういう方々との仕事の職場を考え直していくことが必要になってくる。

女性は新しい感覚を持っている。しかも女性が増えるから増えてくるし、キャリアウーマンが増えてくる。そうすると、そのような女性の感覚を十分使うことによって、かえって仕事は変わっていく。男だけが考えていた印刷業界と、女性が入ってきた考え方は違ってくるはずである。そうした変化を取り入れていくことが、私は印刷業が総合文化になる力を持っているのだと思う。



△つづく▽

## 割烹 ひさまつ

鍋料理	御宴会料理
お刺身	お一人様 ¥3,500より
煮物	小人数から20人位まで
焼物	受け承っております。
酢の物	

新富1-10-11

TEL (551) 2985 (京橋税務所うら)

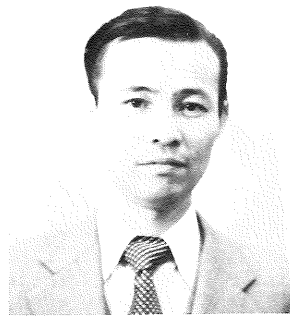


すいせんのことば 印刷会館のすぐ近くで、脱サラのマスターがいる。まだ年若いですが、心配りが気持ち良いお店。所望すれば、加山雄三によく似た声で、ギター片手に歌ってもらえるが、一番良いのはギターで我々オンチに上手に伴奏をしてくれるところ。是非一度のぞいてみてはいかが？

湊地区 (株)大成美術印刷所 新保義人



新地区長の横顔



八丁堀地区長  
明文社印刷所  
村上 繁夫さん

村上さんは、事業繁忙中、地区長の再任を気持ちよく引き受けて下さり、大変ご苦勞と存じます。

明文社印刷は大正7年創業の老舗です。氏は昭和34年、中央大学商学部を卒業と同時に同社に入社、先代の指導のもとに専務として営業畑で活躍、52年に先代が逝去されてより社長に就任、多数の有名得意先を完全に掌握して益々業績を伸ばし、現在当業者間の羨望の的となっています。

現在本部の厚生委員として児玉支部長を助け、他に中央厚生事業協組常務理事としても活躍されています。

趣味はゴルフ、麻雀等、何をやっても器用であり、人柄は温厚、誠実。

今後も当印刷界のため、そして青年幹部の代表として、益々活躍されることを期待いたします。

(K・M)

新地区長の横顔



湊地区長  
協和美術印刷  
浅野 知一さん

人材の多い？湊地区にあつて、幹事通算8年、印刷歴も30年に近く、先代の亡くなられた後を引き継がれた社長歴も7年になられるというベテラン。改めて地区長さんという気がいたしません。それでも写真のように若々しく、寸暇を惜しんで先頭に立って働かれるお姿にはいつも頭が下がる想いです。64社を擁する湊地区のリーダーとしてこの人をおいて人なし、という気がします。気さくなお人柄と行動力がきつとわれわれ業界の結束に大いに力になって下さると期待しております。

慶応の山岳部時代に覚えたという安曇節は何度聴いてもさすがとうならせるいいものです。民謡愛好者の多い湊地区ですが、喜行会(副会長)の来年9月の発表会では相馬土搦節を、と今から張り切っておられます。

(Y・S)

業界の繁栄とともに歩む

- 東印工組斡旋融資取扱
- 東印工組小口融資取扱
- 全印健保指定金融機関
- 印刷厚生年金基金払込取扱

文化産業信用組合  
京橋支店

〒104 東京都中央区八丁堀4-13-1 ☎551-9625代

すいせんのことば 組合関係一切をお願いしています。地域社会に密着した金融機関として大いに利用させてもらうつもりです。 新川地区 金山印刷株 金山耕二

トウのビジネス封筒  
名刺・カード・はがき

- 営業品目
- 事務用和洋封筒
  - 名刺用紙
  - 私製はがき
  - 招待状カード
  - マド付封筒
  - ROマド封筒
  - DM用封筒

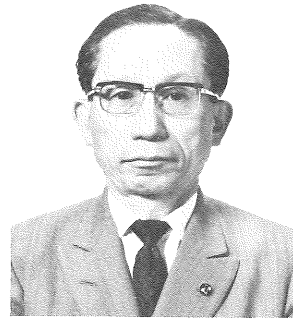
株式会社 トウ エニパック

- 本社 東京都江東区永代1-2-1 電話(642)1141(代表)
- 配送センター 東京都江東区永代1-1-7 電話(643)3237(代表)
- 支店 城南☎(727)4141 本郷☎(643)7461 城西☎(994)5151 浅草☎(643)7851
- 栃木工場 栃木県下都賀郡野木町友沼 電話02805(5)2100(代表)

すいせんのことば 東印工組京橋支部ユーザーのニーズに即応できる堅実なメーカーだと思ひ推薦します。

八丁堀地区 東京真宏印刷株 久保田幸一郎

新地区長の顔



新富地区長  
大東印刷工業㈱  
鈴木 幸男さん

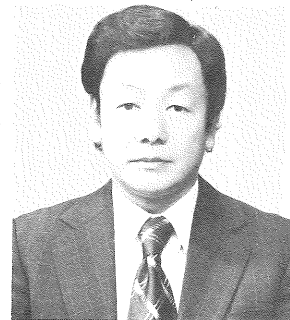
宣伝用印刷物のトータルシステム会社として知られる大東印刷工業㈱の大番頭、鈴木幸男氏は、52年の新富町で印刷道一筋に過ごされている大先輩である。常務取締役として活躍、本年4月、相談役に就任、現在も毎日出社され、クリエイティブセンターの総帥として精励されている。

70歳を迎えられた大先輩に今更、地区長をお願いすることは誠に申し訳ない仕儀と思われたのであるが、地区会における鈴木さんのお年を感じさせないバイタリテイと整合性に満ちた言動に着目、花崎社長も心よく同意され、ここに鈴木地区長が実現したという次第。

こよなく日本酒を愛し、ゴルフはハンデ25をキープ。社内コンペでも社員の人気抜群。いつまでもお元気で活躍されんこと祈るや切である。

(K・S)

新地区長の顔



銀座地区長  
冬水印刷㈱  
永島 洋二さん

この度、銀座地区長になられた永島氏は東京出身、昭和13年生まれ44歳。銀座地区の次代を担う若手の代表として活躍が期待されています。

昭和36年、立教大学卒業後、先代の社長父君冬二氏が昭和12年に始められた冬水印刷㈱に入社されました。そして昭和47年、先代の会長就任と同時に社長に就任。若手といっても社長歴は10年になります。

会社は事務用印刷、商業印刷が主になっていますが、本部においては労務委員会の委員を務められています。

趣味は旅行、ゴルフということ、なかでもゴルフは府中CCを本拠とし、ハンデ9という腕前です。

幹事としての活躍を経ての地区長就任、健康に留意され、社業、組合にますますのご活躍を期待します。

(K・N)

# 生産性の「拡大」に 「コニスーパテン」がお応えします。

毎時1万枚の超高速菊全判オフセット印刷機 2・4・5色機

## 小森印刷機械株式会社

本社 東京都墨田区吾妻橋3丁目11番1号 〒130 東京 (624)7161番(大代表)

すいせんのことば 小森印刷機械さんとは30数年のお付き合いですが故障が少なく使い易いので助かります。先日リスロン40シリーズを見学しましたが大変な努力と研究がされているので力強く感じました。次期変更の予定機もそれ的を絞って居ります。

湊地区 加賀美印刷株 加賀美 博

# 京青会だより

10月21日(木)、京青会10月度定例会を日本印刷会館5階、東京商工会議所中央支部会議室にて6時から開催しました。

当日は大日本インキ化学工業(株)グラフィックセンター所長、牛尾秀己氏をお招きして、技術的見地からみた今後の印刷界の進路」というテーマでお話し願いました。講師の牛尾氏は東京高等工芸学校印刷科を卒業され、その後各地の製版会社、印刷会社のコンサルタントを数多くされ、又PS版の研究では第一人者であられます。現在はグラフィックセンター所長として新技術の展開、研究で活躍されています。

当日の講演は私共が日頃おこなっている仕事をいつもとは違った角度から眺め、又これからの大きく変化していく時代にどのように対処すべきか等大変興味深く参考になりました。

印刷の仕事は印刷会社サイドでどんなに良く出来たと思っても先方が満足しなくてはだめだという特殊性を持っていること、又印刷産業は装置産業のように見えるけれども必ずしも装置産業ではない。例えば自動車産業を考えると100人程度の規模の自動車メーカーではトヨタ自動車に対抗する事は品質の面からまず絶対に不可能であるが、印刷の場合10人位の会社でも大日本印刷に対し、価格、品質共に充分対抗できるどころか、得意先から指名で受注する可能性がある業種である。しかしながら先頃のドルツ

パで発表された将来性のあるライノタイプペイジネーションシステムの様に全くの素人でも原稿から一冊の本にまで編集してしまう機械や、レイアウトスキャナー等の出現で今迄とは状況がかなり変化してきている。このような機械は現在は大手の印刷会社に入り採算面は度外視して特殊な目的に使用されているが、今後は機械のハードもどんどん安くなり、又システムとして完成されてくれば、中小の印刷会社にも導入する時期がくるので、絶えず新しい情報をつかみ、世の中の動きに遅れないようにして今後の時代に対応しなければならぬ。印刷会社の中でコスト低減は今後の大きな課題なので、まず社内の命令系統をはっきりさせる事、これが第一番。その次は物流、特に紙の動きを最短距離にするよう心掛けて、絶えず良い物を、得意先に満足感を与える物を安定して生産する事。そうするには頭脳は明晰でなければならぬ。頭



脳つまり頭は社長や役員さん、目耳鼻は営業部、つまり営業部は情報をとる事、でないといコンピュータにまけてしまいます。顔は会社の玄関、それなら印刷工場は入った所、玄関の恰好をよくしておけという事です。小さな所ならそれなりにいい感じにする事。顔がよいと人が集まってくる。手足は製版であり、印刷であり現場。心臓は工程管理、工務。その工務がしっかりしていると、手足(製版、印刷)がよく動く。まずどのシステムをやるにしても整理整頓が肝心です。紙をびしっと置いておく。これをやる所はどんな小さな所でもロボットは導入できます。ロボットは8ミクロンの誤差しかない精巧なものが出来ている。

いつもコンスタントな品質のものを作る、又それをグレードアップする等、そういった自分の会社のシステムを作るために大日本インキの今度できたグラフィックセンターがあり、その中に活版、平版、グラビア印刷等の技術研究設備、つまり網点拡大やフリンジの状態を測定できる解放室を作りましたので、自社の品質を維持するためにも是非利用して下さい。使い方は係員がお教えします。

ということで予定の一時間半を忘れさせる大変豊富な内容と、私達にとり身近な話題から今後の展望を含んだ講演会でした。又講演後の懇親会にも牛尾所長に出席して頂き印刷週間のポスターのデザインについてもお話を頂き和気あいあいとした処で散会となりました。

(岩尾記)

# 税務研修会開催

11月19日(金)、恒例の税務研修会が京橋税務署より野村副署長以下5名の方々を講師にお招きして、夕食後の6時過ぎから日本印刷会館の7階で、開かれました。今年も製本組合京橋支部及び京青会にも呼びかけて多数の方々の来場を予定しておりましたが、年末の繁忙期と重なったせいか、印刷京橋が32名、製本京橋21名の計53名のみ出席で、張り切っていた京橋税務署の担当官には多少申しわけない感じでした。

まず児玉支部長が挨拶に立って、「今年も製本京橋、及び京青会の合同で税務研修会を持ちました。皆さんには昼間お仕事でお渡れのところを夜も勉強で大変ではありますが、税金というものは、最近の三越の岡田氏のように脱税するのではなく、節税を心掛けるべきのものです。その上からも本日は心おきなくわからない点を質問し、又後日税務署に聞いて下さる

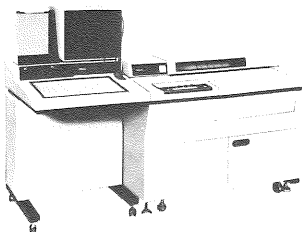


ようにお願ひします。」と述べた。次に野村副署長が立って新任の挨拶を述べ、続いて京橋法人会の諸方専務理事の挨拶の後研修へと移った。

まず印刷担当で、今秋に新任した森川統括国税調査官が「税務調査官からみた税務調査の問題点」について、今迄担当していた地域や業種の例をあげて分かりやすく説明、続いて製本担当の細川統括国税調査官も同様に新任の挨拶と共に説明を行った。三番目に今年で4年目になる川島上席申告指導官が「事業の引継ぎと税金」について法人会のテキストをもとに黒板を使って熱心に説明を下さり、八時を過ぎるまで皆熱心に聴講していた。最後に製本京橋の村松支部長が閉会のことばを述べて今年の税務研修会の幕を閉じたが、少ない参加者の中で、築地地区の山之内印刷帆布地区長の呼びかけで9社10名の参加者があったことが目立ちました。

## 豊富な組版ソフトが付加価値を増大する!

電子編集組版機  
**WP-6000**



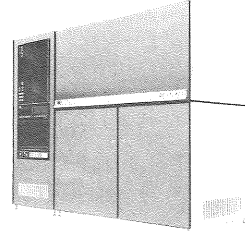
コンピュータに豊富な組版ソフトを搭載し、今後の文字組版の主流を形成するモトヤ自信の最新鋭機です。

御社も、業務の質の向上による付加価値の増大を達成できませんか。

**株式会社 モトヤ**

大阪 大阪市南区南船場1 10-25 ☎(261)1931 ☎542  
 東京 東京都板橋区中丸町10 ☎(959)0123 ☎173  
 福岡 福岡市博多区古門戸町8-7 ☎(291)8605 ☎812  
 横浜 横浜名古屋・神戸・姫路・熊本

電算植字機  
**ビデオジャムシステム**

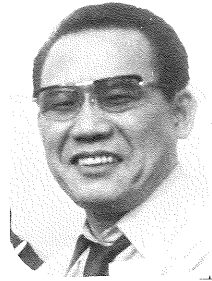


すいせんのことば 何よりも嬉しいことは、印刷のことをよく知った上で、こちらの身になって相談ののってくれることです。特に、私共の会社にこまめに足を運んでくれる営業マンの堀内君は、なかなかの好人物で、熱意がひしひしと伝わってくる点など、各社の営業の学ぶべきところと言えるでしょう。

湊地区 株大成美術印刷所 工場長 関本明弘

# 仮説・忘年会の二次会用 新年会

——真面目に読むとくだらない話——



京橋地区  
尾島 賢一郎

年の瀬も近くなると巷では今年の10大ニュースや翌年の景気予測が話題になり、今年頑張った人は来年は更に一層の向上をと期待し、反する人は来年こそは良い年でありますようにと、希望に胸を膨らませて今年一年の締めくくりをする時期がやって来ました。

人間の欲望は無限で、常に良くなる、良くなると思う心は同じですが、ここ数年の世の中の激しい変化をみてますと翌年、又は3年後更には5年・10年後を予測するのは神がかり的な超能力でも持たない限り不可能に近いように思われます。世の中が不安定になりますと、我々は占いを気にしたり、株式市場における教祖的な存在の人の言葉に左右された行動をとるなど、葉をもつかむ心境になるようです。

私も暦を買ってきては、真っ先に自分の運勢欄を見ては安心したり、ガツカリしたり、疑ってみたりと、世の中、なかなか思うようにはいかないものです。ましてや一人の人間の運勢だけでは(かりにその一人の人間の運勢がその年は良いと出ている)世の中の大勢の前には何

も影響がないのではないかと勘ぐりたくもなりません。特に最近の世の中は平準化してしまい、超英雄的人物の出現し難い社会構造を考えるとなおさらの感があります。


先が読めないということは心理的に不安なもので「予測できるのは変化のみ」では安心感にもなりません。そこでなんとかならないものかと私案六法の末に次にご紹介する仮説をたててみました。3通りの説を混ぜ合わせ、これを1つのサイクルと考え、少なくともむこう10年間の世の中の動向を予見する事により、多少の気やすめになればとの単純な発想が原点です。

### (1) 九気星

暦より引用したのですが、これは人類全般に当てはまります。

- ☆一白水星……… 午年より7年間運勢が良い
  - ☆二黒土星……… 午年より
  - ☆三碧木星……… 酉年より
  - ☆四緑木星……… 酉年より
  - ☆五黄土星……… 午年より
  - ☆六白金星……… 卯年より
  - ☆七赤金星……… 卯年より
  - ☆八白土星……… 午年より
  - ☆九紫火星……… 子年より
- 右の通りになります。が、ご覧になってお解りの事と思えますが4種類のタイプに分類する事ができます。すなわち
- (1) 一白・二黒・五黄・八白の人
  - (2) 三碧・四緑の人
  - (3) 六白・七赤の人

## 山桜製品



株式会社 **山 桜**

本社 東京都中央区築地3-2-9  
 電話 542-8511 (大代)  
 工場 東京都昭島市大神町1046番地  
 支店 神田・中野・五反田・浅草・板橋・亀有  
 墨田・蒲田・横浜・千葉・大阪

プロセインキの最高峰

New Champion

# Super Apex



大日本インキ化学

すいせんのことば 商品はグッドで値段はピタット。営業マンはスラット会社はハイルク。だから、使いたくなる山桜製品。 新富地区 神林印刷株 神林克明

すいせんのことば New Apex-Gは、使い易さ、鮮やかな色相、すばらしい光沢の三拍子揃ったインキです。 新川地区 伊坂美術印刷株 工場長 辻 景虎

(4)九紫の人

更にこの4タイプの集団を全人類100とすると、(1)が44%・(2)が23%・(3)が22%・(4)が11%という比率になります。言い換えますと地球上の全人類は白人・黒人・黄色人種の差別なく4種類に分類され、その比率は前述の通りであるという事になります。

(2)七年説

人間は細胞の塊でできており、その細胞は7年間で一巡するという説です。

脳細胞・筋肉細胞はもちろん、すべての細胞を対象にし、早い話が蟬と同じく我々人間も7年間で衣更えをするという事です。すなわち7年間で一つのサイクルと考え、その1サイクル7年間は物の考え方・身体の調子・環境・行動力は変わらず、次の7年間は逆に前の7年間のサイクルに対し変化があるという訳で、この事は人間一生に当てはめる事ができます。ただし、細胞は毎日毎日変化するものなので、その変化のされ方が7年目に突然すべて変化するというのではなく7年目に近い5年目・6年目は順次変化の兆候が現われると解釈された方が良いでしょう。人間の厄年とか、仏門方面でもよく7の倍数が使われていますが、これも何かの因縁でもあるのでしょうか？

(3)地球の誕生年とは？

通説では43億年前に大宇宙の蒸気・土石・塵等が何らかの爆発で飛びちり、それらが集まり合ってきたとされていますが難

しい事は抜きにして、西暦元年を誕生年としますと、地球は一白水星・酉年となり7年説のサイクルは283回目の衣更えが81年で終り、82年より88年までが次のサイクルに入ったという事になります。

左頁の図は前に述べた3つの仮説をグラフに表わしたものです。グラフ中の2本線の上段は万物の霊長である我々全人類の運勢を表わし、下段は地球、すなわち時の流れを表わしたものです。以上から総合的に判断してみますと…… ◎上段——人類が存在しているからこそ、独立した国があり、政治・経済・文化・社会があるのは当然の事であります。生活していくこと——すなわち、毎日毎日の食べる事に心配なく、雨・露が凌げる家があり、適当な衣服をまとうこと——が人間の基本的な権利であり、人間の最も恐れる事は食べられないことにあります。この食べる事を侵された時、人間はイデオロギーをも超越する大きな潜在力となつて現われ出てくる事は過去の歴史が如実に物語っております。第二次大戦後の荒廃した領土を建て直す復興期、そして次のステップの成長期に残した咎め、更にエネルギー危機と我々人類は数多くの貴重な経験を経て現在に参りましたが、最近の現象はと申しますと、あまり芳しいものではありません。

逆オイルショックによる世界の金融の流れの変化、世界同時不況による各国の保護貿易主義的な考え方の台頭、発展途上国における

紙の心をお届けする

# HAGA

HAGA PAPER CO., LTD.

株式会社芳賀洋紙店

本社 / 東京都中央区新川1-25-7  
〒104 Tel. 03 (552) 9251 (大代)

杉並・仙台・高崎・名古屋・大阪・福岡

名刺が刺き筒カレンダー

業界のトップメーカーで  
全国で一番よく使われている!

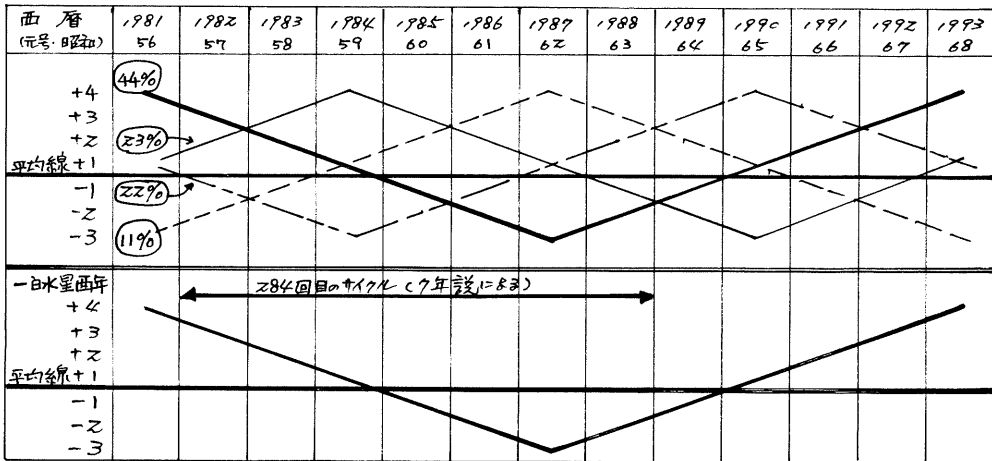
TRADE MARK

## ハート株式会社

東京東支店	135 東京都江東区冬木1-5番10号 電話(03) 641-1153番
東京西支店	166 東京都杉並区高円寺南2丁目37番4号 電話(03)316-2151代表 4番
東京南支店	140 東京都品川区東品川3丁目2-6番4号 電話(03)450-1911代表 4番
東京北支店	171 東京都豊島区要町3丁目14番5号 電話(03) 959-3131(代表)

すいせんのことば 常にユーザー側に立ってそのニーズに応える供給と開発を社是に「先義後利」の精神を、今後も堅持して下さい。新川地区 高千穂印刷(株) 小山英美

すいせんのことば ハート(株)の営業さんは、なかなかの商売熱心です。特に若い沢野君は小まめに動き、品質も優れています。 湊地区 (株)三和印刷社 市川仁作



債務返済繰り延べに端を発した国際金融問題等、難問山積であり各国指導者の冷静な英知に期待する他はありません。グラフ上段の数字

字のパーセントの合計を参考にすると'83・'84年はゆるやかな下降線をたどり、'85・'87年が要警戒時期ではないでしょうか？

◎下段——アルビン・トフラー氏の「第三の波」

の理論ではありませんが、転換期に入っているような感じは見受けられます。科学技術の発展はもちろん、人類に多大の恩恵を与えるものと信じておりますが、正直なところ、これから先世の中どう変化するか皆目、見当もつきません。例えの表現しかできませんが、森林とは何本もの樹木の集まりによって構成されていますが、現在の所その森林の大部分は未成長の樹であり、その中の何本かが大樹で人目についているような状態です。問題はその大樹が地下水を大量に吸収してしまい、他の未成長の樹木が水を吸い取る事ができなくなり、しまいには枯れてしまつて、残ったのは何本かの大樹であつたというのでは困ります。森林全体が平均的に成長し、緑の大地を型作るといふ事が望ましいのです。'83年より5・6年間は森林の手入れをし、水を平均的に与え、太陽の光を皆が受けられるような環境整備をする時代だと思います。

皆さんは来年の世の中の動向をどう判断いたしますか？ 各種会合の2次会で大いに激論を交わし、お互いに少しでも良くなるように努力をしたいものです。

私も新年元日は「初詣」をして、家内安全と商売繁盛を祈願しに参ります。

《輝き》と共に生まれた、最高級オフセットインキ

TOYO KING  
**Bright**



色彩と印刷のあすを考える  
**東洋インキ**

本社／東京都中央区京橋2-3-13 ☎03(272)5711

印刷製本が支える 組合給食

事業主と従業員の栄養源  
健康を守る

**給食センター**

中央厚生事業協同組合(551)4909

理事長 清水 栄之助

◎ご利用をお待ちして居ます

すいせんのことば 昨今はトータルスキナーの開発・実用化を計るなど、我業界発展に尽くしてくれており、その務力に敬意を表する。

新川地区 (株)久栄社印刷所 田島一弥

すいせんのことば 栄養のバランスもよく、おいしさの中に「お袋の味」を加味した中央厚生の昼食はいつも満点の味です。

湊地区 聖文社印刷(株) 田島弘

随 筆

田園の憂鬱

—— 草原で聞いたアランフェス協奏曲 ——

新富地区 大東印刷工業棟 岡野 滝雄

「遠い昔を回想するような哀愁ただよう旋律、素朴な民族的音楽、激しいジプシー風のリズム、エキゾチックでスペインのムード」、これはロドリゴの不朽の名作「アランフェス協奏曲」演奏に先だったアナウンスのナレーションである。この曲にはびつたりの名フレーズで今でも覚えており、時にふれては想い出している。あれから10余年の歳月が流れ去っていることに驚きさえ感ぜられる今日このごろでもある。

「アランフェス協奏曲」といえば、名ギタリストのナルシソ・イエペスという順序なので、説明する余地のないもののだが、このイエペスの奏でる名ギター協奏曲を、澄みきった青空の下、小高い丘の上の草地で是非聴いてみたいというのが私の夢で、この曲を録音しておいた。時ならずして、家内の実家のある日光連山の麓の寒村でテープを聴いてみるようになった。ここならば都会の雑音からは遠く隔たりがあり、私のイメージとぴったりで、スペインのムードとしても対象的な雰囲気だから素晴らしいものに違いないということであった。

四肢を伸ばし仰臥するとすぐにも微風が心地よく顔をなでて行き、周りいちめんに初夏の草いきれが漂い、名も知れぬ小さな花が咲き乱れていて青空は底知れぬ深さに澄み渡り、白い雲

がホッペマの田園の絵のように音もなく流れていた。

このようなすこぶるごきげんな心象のうち第一楽章が終わりに近づいたころであったろうか、どうも首すじのあたりに、「チクリ」という痛みと時を同じゅうして、なにやら二つ三つでない、もそもぞと小動物らしきものが次々に顔面に這い上がってくるのを感じた。みると色の黒いかなり太めの蟻たちであった。蟻の方ではなにやら得体の知れぬ無法者が生活の領域を荒らしに来たと思っただのか、あるいは上等な大餌にありついたらと錯覚したのか分からないが、困ったことに相成った。

身体を半分起こして音楽の鑑賞に移ったが、今度は足先から侵入したやつが、こともあろうに愚生の身体の中央にまで侵入してくるではないか。もうこうなると「アランフェス協奏曲」どころではなく、周りに人の気配のないのを幸いとさっそくズボンを脱ぎ捨てパンツ一ちようで中身を振ったしだい。いやはやこれはボンチ漫画を地であった己れの格好がおかしくなって思わず奇声をあげた。

曲はこの間にスペインの民謡を主題とした一ばん美しいフレーズに移っていた。

(続)

京橋製本協同組合

- 理事長 村 松 敏 一
- 副理事長 豊 田 政 國
- 〃 川 崎 哲 雄
- 専務理事 城 所 虎 雄

小さな物から・大きな物まで  
いつでも・どこへでも

運 梱 発 保  
送 包 送 管

渥美運輸株式会社

東京都中央区入船 2 丁目 9 番 3 号  
☎(552) 3 7 7 1 (代表)

すいせんのことば 安心してたのめる。信用ある地もとの製本組合をご利用ください。

八丁堀地区 信濃印刷(株) 児玉正己

すいせんのことば 親切で小回りがきく、注意のいきとどいた運送会社として利用しています。

新富地区 日本精版印刷(株) 中村憲吉



# 地区たより

## 八丁堀地区

### 創立五十周年を迎えた 白橋印刷株式会社

去る10月7日白橋印刷株式会社の創立五十周年記念祝賀会が京橋会館で開催されました。

昭和7年10月7日白橋印刷所として東京府京橋区4の4に創業以来50年白橋会長始め社長ならびに社員の方々の御努力により今日の白橋印刷株式会社社の御隆盛と子会社の白橋フォーム(株)白橋平版株式会社社の御繁栄は私共八丁堀地区の組合員にとりましてこの上ない喜びでございます。心から御祝申し上げます。きびしい経済状況下であり五十周年の節としての内輪の祝賀会であるとの司会者の挨拶がありました。社員の方々を主体とした祝賀会であり誠に心温る記念の祝賀会であり感動を覚えました。印刷一筋五十年と一口に申しますけれども大変なことでございます。今日の白橋印刷株式会社の隆盛をきずかれた白橋さんのお人柄は誠実なそして親切な方であり、印刷業界の発展には役員として御活躍になり、特に八丁堀地区におきましては親睦の会と申しましょうか「八親会」を造られました。初代会長には東京真宏印刷株式会社の久保田社長が就任され今日の八親会の基礎をきずかれたわけですが、私共八丁堀地区の組合員は八親会を通じて組合の原点と申しましょうか相互扶助精神の尊さ親睦の大切さを教えられ、白橋さんに常に感謝し尊敬しております。他の

地区から八丁堀地区は団結が強いといわれるのも20年来の八親会があるからです。くだけて申せば白橋さんは八丁堀の「おやじ」ということです。このような白橋さんの誠実さが御得意先の信頼を得て御繁栄の五十周年を迎え誠におめでとうございます。現在は御子息が社長になられておりますが、ニューリーダーとしての社長を中心に社員の方々が五十周年を節として新しい時代に向ってますます発展することでありましょう。

五十周年を御祝い申し上げるとともに白橋会長の御人柄を紹介いたしました。

## 湊地区

### 懇親旅行記

雨にたたられた今年の秋であったが、やっと天候が落着き、快晴の10月23・24日の両日、湊地区恒例の懇親旅行が行われました。

午前7時4分発のこだまに乗車のため、眠い目をこすりながら、待合せ場所の東京駅「銀の鈴」のところに参集する。当初の予定では40名ほどの参加予定であったが、都合の悪い方が出て、結局総勢32名の参加による旅行となった。

私達を乗せたこだまは定刻に東京駅を発車、一路米原に向う、早速幹事さんから朝食と飲物が配られ早くも旅行気分になる。午前10時33分米原に到着、チャーターしてあった観光バスに直ちに替えて、いよいよ若狭路から天の橋立への旅立ちである。バスは秋晴れの北陸自動車道を快適に飛ばす。窓を少しあけて風を入れな

新しいロゴマークでリフレッシュ。

写真植字

# モリタ

大阪本社＝大阪市浪速区敷津東2-6-25 電話06-649-2151  
東京支店＝東京都新宿区下宮比町15-5 電話03-267-1231  
名古屋・福岡・広島・仙台・札幌・高松・鹿児島・明石・横浜

# 株式会社 大和屋洋紙店

本店／東京都中央区新富1-15-3 電話03 (551) 8281  
中野支店／東京都中野区沼袋1-19-15 電話03 (387) 5401

すいせんのごときは 王子製紙系列の名門企業だけあって、誠実な営業姿勢は他に類を見ない。信用できる会社だと確信しております。

新富地区 大東印刷工芸(株) 花崎実

すいせんのごときは サービスに徹し、技術開発に真摯に取り組む経営理念はすばらしい。今後の限りなきチャレンジを期待したい。

新富地区 正進社印刷(株) 高橋茂

ければ暑いほどの好天である。敦賀インターをおりて国道27号線に入り美浜千鳥苑に車をとめて早くも昼食、朝食の腹ごなしがまだ充分でないので幹事さんが気を利かせて食膳にそばを用意してくれる。休憩のあと、最初の見物場所である三方五湖に向う。五つのカラーをもつ三方五湖はまことに風光明媚で春夏秋冬の変化は素晴らしいといわれている。レインボーラインを登り、梅丈岳展望台で休息。展望台から眺望する三方五湖の美しさはまた一段と素晴らしい。梅丈岳を下り小浜市に入る。小浜市は「海のある奈良」ともいわれ、若狭路の中心で、古代文化の香り豊かな田園文化観光都市として広く知られており、市内あちこちに古社寺、古墳が数多く残されており文化財の宝庫とさえいわれている。その文化財の一つである明通寺、神宮寺に参詣する。両寺とも住職の説法があったが、特に神宮寺はその名のとおり神仏併合で、寺でありながら二拍手による拝み方は珍しい。京都の東大寺のお水とりの水は、この神宮寺から送られるところから、お水おくりの寺といわれている。お寺をあとにして、若狭塗の箸工場と若狭めう・センターを見学して、小浜海岸にあるホテルやまねに到着し旅塵を落す。

小浜海岸は温泉ではないので、温泉街特有の歓楽街や土産物店の並ぶ商店街など全くなく、ホテルの前に日本海の雄大な眺めが広がっているだけという、まことに健全そのものの場所。旅の恥はかき捨てをご期待のむきには一寸物足りない所であったかも知れない。宴会場では型

通り短い挨拶と乾杯のあと綺麗どころのご入来と相成り賑やかに宴会がはじまる。ショーとして当地ご自慢の「蘇洞門太鼓」の熱演に拍手をおくる。アルコール度の上昇とともに宴会の熱気も急上昇、芸者の踊りからカラオケと夜の更けるのも忘れる。芸者が帰ったあとは、宿の年配の女中さんと一人の仲居さんが、都々逸や安来節で楽しませてくれた。地方ほど素朴なサービスをしてくれるのが嬉しい。二次会もなく全員まことにおとなしく床につく。

潮の香を 枕に夜の 夢路かな

7時半に朝食をすませ、8時半にホテルをあとにする。バスは一路目的地の天の橋立に向けて海岸線を行く。道路もすいていてまことに静か。どこの寺の修行僧か一列の雲水が黙々と歩いている。都会では見かけられない風景である。

若狭路の 静けさを行く 托鉢僧

「岩壁の母」で有名な舞鶴を通過、戯曲「山椒大夫」の史蹟を窓外に見る。天の橋立に到着特別仕立ての遊覧船で対岸の一の宮へ約10分ほどの海上散歩、ケーブルで傘松公園に登り天の橋立を眼下に展望する。日本三景の一つといわれるだけに周囲の景観とあいまって自然美の偉大さを痛感する。記念写真のあとリフトで下り昼食、帰途につく。乗物の時間が長い旅だったが天候にも恵まれ楽しい2日間を過ごすことができた。来年をお楽しみに。

南中山印刷所 中山 英男

対話へのかけ橋

1枚の封筒にも  
大きな使命が  
かせられています。



山口封筒

本社 〒104 東京都中央区八丁堀2-2-7 電話(551)1151(代)  
工場 〒132 東京都江戸川区西端江4-21 電話(652)7721(代)

すいせんのことば 山口封筒さんは納期正確、トップの指導が良く営業部社員は非常に仕事熱心で責任感が強い。

八丁堀地区 ㈱三田村印刷所 三田村桂太郎

湊地区

第30回水交会11月16日

相模湖CCで挙行

昭和52年2月、箱根仙石原で第1回の水交会を故篠倉鉄郎氏、田島弘氏と長島の3人で行ってから早いもので5年の年月を経過し、今回で30回目のコンペを迎えた。湊地区の印刷業者と印刷関連業者を中心に現在は会員20名、幹事長田島弘氏の面倒見のよさのお陰で、仕事を離れ水の如き交わりの楽しい会に育ってきている。コンペ当日雨が降ると以前は水交会の名前がよく引き合いに出されたものだが、最近は雨に祟られることも少くなってきた。今回も前日の天気予報は降雨率10%、一同雨具を用意してスタートしたが、ホールを追うごとに晴れ上り100%気象庁の黒星。秋晴れと爽やかな緑の一日を楽しくプレーに興じた。優勝はハンデ頭の三豊社専務の斉藤晃氏。グロス79ネット77という立派なスコアでした。



榎大秀社

長島 一磨

中央区 商店街連合会創立30周年 記念式 工業団体連合会創立20周年

中央区商店街連合会と中央区工業団体連合会ではそれぞれ30周年を記念して、10月14日、中央区立中央会館で記念式を行い感謝状の贈呈が行われた。印刷京橋支部関係の受賞者は次のとおり。

一、中央区長感謝状受賞者(20名)

- 高橋 與作氏(中央区工団連前会長)
- 白橋 龍夫氏(中央区工団連前会長)
- 池宮 義久氏(中央区工団連会長)
- 石曾根啓悦氏(中央区工団連副会長)
- 児玉 正己氏(中央区工団連副会長)

一、中央区工業団体連合会会長感謝状受賞者

- 田島 弘氏(中央区工団連前常任理事)
- 坂田 利正氏( )
- 田島 一弥氏( )
- 三田村桂太郎氏( )
- 神林 克明氏( )
- 室田 利一氏( )
- 水野 雅生氏( )
- 神田 半三氏( )
- 竹内 喜夫氏(中央区工団連常任理事)
- 尾島賢一郎氏(中央区スポーツ振興委員)
- 榎本 則義氏( )
- 岸 健作氏( )

一、中央区工業優良従業員表彰状受賞者

印刷京橋より14社50名の勤続15年以上の優良社員に表彰状と記念品が贈られた。

支部の動き

10月5日 本部支部長会開催。児玉支部長出席。於、日本印刷会館7階

10月7日 中央区文化展実行委員会開催、於中央区役所、各実行委員が出席して最終の打合せを行う。

10月13日 部長会、地区長会、於支部会議室。

(一) 加入のしおり地域版について 各支部で地域版をつくり本部作成分に加える。

(一) パートタイマー・小企業向け就業規則の作成について

現在労務委員会モデルを作成中。

(一) 各委員会報告について 資機対策委員会は9月末大王製紙を見学その隆盛の要因を探る。価格も他より低い。

。頁物印刷委員会、東洋インキで新開発のコンバータの説明会をきく。これは市販のワープロや電算写植機にも接続できる。価格は7百50万円。ワープロ付で1千万円。

。商業委員会、東レとクスタ事務機で開発したFX500を見学。ワープロと電算写植の中間で操作はワープロと同じ。ドット文字はルーペで見ても網点がほとんど判らない組版機。図形も読みとり縮尺して一緒に組み込める。これか

らの有力な文字処理手法である。価格550万円。またイスラエルで開発したレスポンス300(東洋インキ)を今度見学の予定。

(一) 中央区工業文化展開催にあたって支部新年臨時総会、会費組合員1万7千円、関連業者2万5千円。2月5日箱根湯本、湯本ホテル、多数の参加を期待します。現地集合翌朝解散。

10月14日 中央区、中央区工団連共催、工団連創立20周年記念の表彰及び永年勤続表彰式が行われ、13名の前役員及び15年以上勤続の優良従業員50名が表彰された。於中央会館、池宮工団連会長、石曾根、児玉両副会長出席。

10月20日 中央区工業文化展開催、本文参照。  
11月2日 本部支部長会開催、於印刷会館7階児玉支部長出席。

11月10日 部長会、地区長会開催、於支部会議室、支部長会報告その他協議する。  
(一) 各種委員会報告について  
。構改委員会、構改調査票の提出促進について協議。11月15日頃をメドに回収を各地区長より再度呼びかける。  
。小企業対策委員会、小口融資の保証人は組合員のみに限る事にした。11月は、富士通でワープロの研修会を行う予定。

。労務委員会、三六協定に関する行政指導が行われる。内容は研修会で説明さ

れたとおりで残業時間の規制が強化される。年間2千時間を目標。  
。教育委員会、第2回営業士認定講習会が行われた。また経営者基本講座も行われてハードなものであった。

。組織特別委員会、加入のしおり作成各支部のページも折り込む。  
。事務用委員会、原価計算ガイド及び組版難易度の改訂版を来年手直ししてつくりたい。

(一) 当面する支部の行事  
顧問・相談役・参与の会と部長、地区長会を12月14日、京橋会館にて行う。会費一万円也。  
。税務研修会を11月19日に製本京橋及び京青会と共同で開催する。  
。その他紙の市況については弱く、価格は下がり気味である。

11月19日 税務研修会開催  
11月22日 京橋電気安全協会、於京橋消防署。岩本書記代理出席。秋の火災予防運動実施予算案を可決し、運動結果の説明をうける。

10月3日 京橋地区組合員、秀英堂紙工印刷(株)会長堀沢健治殿が御逝去されました。行年86歳。慎んで御冥福をお祈り申し上げます。

おくやみ申し上げます

10月3日 京橋地区組合員、秀英堂紙工印刷(株)会長堀沢健治殿が御逝去されました。行年86歳。慎んで御冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

○春の山を「山笑う」、秋の山を「山粧(よそお)う」、冬の山は「山眠る」と歳時記にはある。高山はもう雪が積もって長い眠りに入った。

○我国を初め、世界各国が、不景気という眠りに入ったといわれている。が、政治も経済(産業界)も眠っている、はじまらない。それなりに世の中の動きがない訳がない。

○マーシャル・マクルーハンの著作が、再び読まれ始めているそうである。この思想家が、一九六〇年代後半「メディアは、メッセージである」という標語によって、爆発的な旋風を巻き起こしたことは有名ではあるが、その思想はたんなる知的意匠として受けとられ、吟味されることなく忘れ去られたようでもあった。

だが、印刷によって開始された所謂、視覚文化の時代は終わり、今や、触覚文化の時代がはじまりつつあるとの主張が、如実な響きを帯びてくるのは、技術革新の声とともに、一般の生活者の周辺にまで押し寄せんとする今日の微妙な変化の反映でもあろうか……。

○印刷業界の需要の拡大とその方策は……ともあれ、読みふける読書の秋とやらも押しだまり、「車はノロノロ、無駄多シ、日本の行方、憂いあり」(武田節)の替え歌とやらを耳にして自然とともに、はや、師走を迎える。

○「京橋の印刷」も憂いのなきように、皆様方のご協力とご寄稿を、お願い申し上げます。